

平成30年度末 人事希望表明制度「公募資料」

公募する教員像

- 1 進学指導及びSGH、高大連携事業等の多様な体験活動、課題探究活動の指導に意欲的に取り組める教員
- 2 部活動指導等に熱い意欲と優れた技能をもち、熱意をもって取り組める教員
- 3 学校の中核として、積極的に学校運営に関わろうとする志を有する教員

『新しい価値を創造できる高校を目指しています』

1 学校沿革概要

大正13年に高崎実践女学校として設立され、昭和22年高崎市立女子高等学校と改称。昭和56年、現在の地、高崎市浜川町へ移転。平成6年、学校改革により、男女共学の高崎経済大学附属高等学校として開校。本年、開校25年目を迎えている。

2 スーパーグローバルハイスクール（SGH）後継事業

文部科学省より、SGHに採択されて5年目。この取組は、日本の将来を担う、グローバル人材の育成を趣旨としており、本校では高崎経済大学との連携事業を骨格に、海外展開する地元企業や大手企業の海外戦略等を学ぶことで、課題解決能力を育成し、国際的に活躍できるグローバル人材を育成することを目的としている。

本校のSGHのキャッチフレーズである「高崎市と世界を繋ぎ、地域に貢献できるグローバル人材の育成」のノウハウを今後も継承・発展させる教育に取り組めます。



—高経大とのコラボゼミ—

3 学校の目指す方向性

「新しい価値を創造できる高校」

グローバル人材の育成、高大連携の取組、英検全員受検、芸術コースや部活動をはじめとする伝統的な取組、生徒会活動など、本校の特徴的な教育活動を通して、一人ひとりが輝く機会を設定し、その活動を通して、自己の目標を明確にし、学習意欲、学力の向上へと発展させ、進路目標を実現する。

4 本校で様々な取組を担当してみませんか？

伸びる進学実績と部活動の活躍。積極的な体験活動や学校での生活に充実感を感じている意欲ある生徒に「学びの真の楽しさ、向上する充実感」を是非、あなたの力で体験させてください。